

JAPANTEX'98

日本インテリアファブリックス協会会長 島田清隆氏の挨拶



事業活動の強化拡充「インテリアファブリックス産業活性化ビジョン」を策案。このビジョンの中の大きな課題の一つは「市場開発と消費者啓蒙の在り方」の中で示されている「品質と機能と価格」のユーザーへのアピールの仕方が不十分であり、JAPANTEXはこの課題を解決するための重要な役割を果たす場であることを強調。



NIF 新春懇親会並びにジャパテックス'98オープニングパーティ開催初日の1月28日17:30よりT.F.T東館9Fのレセプションホールで開催。T.D.Aからは、上野理事長、山口、わたなべ両副理事長、他、大森、杉山、川上、小川等が出席。

島田会長の新年並びにジャパテックス'98の無事開幕の挨拶、次回の'99年は平成11年2月3～6日東京ビッグサイドで実行委員長には近藤貞彦 住江織物(株)社長に決まったこと発表。

・高円宮憲仁親王殿下のご視察三時間余と例年になく長く、オープンセレモニー後、高円宮殿下御夫妻の視察となり、第一番に、T.D.Aの会場「TEXTILE DESIGN WAVE'98-'99」に御来場。杉山が対応するが2～3分で説明をというN.I.F事務局側の要請であるが、2～3分で説明できるわけがない。妃殿下より、「日本のカーテンは高い」というお話には、答えが困った。トレンドブックは後でお届けして戴くようにしたが、トレンド全体を見て戴く時間も説明する時間もないことは残念であった。

ジャパテックス'98実行委員長辻田信和氏の挨拶



業界活性化と各社の市場拡大に対し、JAPAN TEX'98への大きな期待が感じられる。「誰もが望んでいる、心地良い暮らし」が問われている時代に相応しい、新しい視点からインテリアとインテリアビジネスを見つめ直す提案をした。今回の展示コンセプトは前回に引き続き「プレゼンテーション」として業界から生活者への情報提供と積極的働きかけに直接的に役立つ様な展示内容と展示方法を展開。今回の特別催事として7つの企画を実施。

通商産業大臣堀内光雄氏(代読) 土屋博大臣官房審議官の挨拶



JAPANTEXはインテリアファブリックスの総合的、国際的な展示会へと発展を遂げてきた。住生活環境を彩る商品の提供等を通じて住空間における潤いや安らぎを提案することで、国民生活の質的向上に貢献されてきた。今後も、21世紀における新たな住生活環境の創造に向けて安全性、快適性、ファッション性等の要素を取り入れた優れた製品を提案することが期待される。通商

産業者としては、生活文化産業のより一層の発展と生活者の視点に立った施策の実施と推進する立場から、インテリアファブリックス産業に対し、今後も引き続き必要な支援をしていく。

